

# 静岡中央第二児童クラブ 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年7月29日(木)

古代人のアクセサリー(勾玉)を作ることで、

## ◎勾玉作り

古代人の生活を知ることができました。

今回は、駿府城公園内にある中央第二児童クラブを訪問しました。小学1年生から5年生までの34人を対象に、1時間30分という限られた時間の中で、勾玉作りをしました。

勾玉作りの前に、遺跡の話や石の話を低学年の小さい子にもわかるように話し、古代人もアクセサリーを身につけていたことを知り、興味深く聞いていました。

次に、いよいよ勾玉作りです。この講座をとっても楽しみにしていた子どもが多くいたようで、作業にはいると、みんな集中して取り組んでいました。

「これでいい?」と何回も確認に来るほど、夢中になって紙やすりで磨いていて、なかには紙やすりで磨きすぎて折れてしまう子もいましたが、ほとんどの子が形にすることができました。

荒い紙やすりで形を作った後は、細かい紙やすりで形を整え、最後の紙やすりで傷などをなくしていき、穴にひもを通して出来上がりました。ひもの長さを変えられる結び方は難しいので、やってあげました。終わった後も、大切に新聞紙で磨く子や、次の日も又次の日も首から提げて来る子が何人もいたようで、とても良い体験になったそうです。

低学年にもわかりやすく  
遺跡の話をしました!



指導員の先生も一緒に  
お手伝い!

